

RX E1/E20エミュレータデバugga V.1.02.00 (High-performance Embedded Workshop用) ご使用上のお 願い

RXファミリ用E1/E20エミュレータデバuggaの使用上の注意事項を連絡します。

- フラッシュライターモード使用時の注意事項

1. 該当製品

RX E1/E20エミュレータデバugga V.1.02.00
(High-performance Embedded Workshop用)

CubeSuite+に含まれる RX用E1/E20エミュレータデバuggaは
フラッシュライターモードをサポートしていませんので、本問題は該当しません。

2. 内容

フラッシュライターモードでデータフラッシュ領域にプログラムを
ダウンロードした場合、正常に書き込みが完了してもベリファイエラーが
発生する場合があります。

3. 発生条件

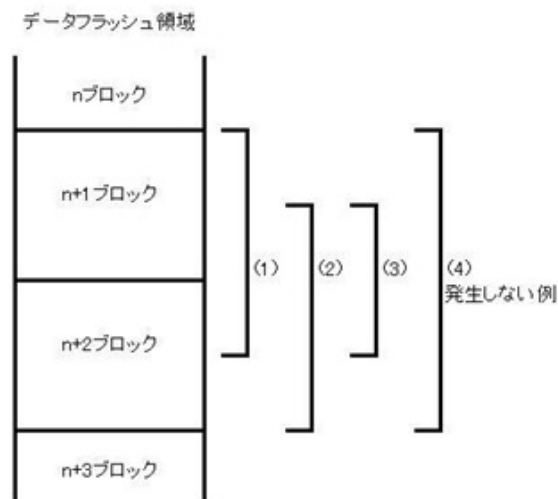
以下の条件をすべて満たす場合にベリファイエラーが発生することがあります。

- (1) 以下のマイコンを使用している。
RX610グループ, RX62Nグループ, RX621グループ, または RX62Tグループ
- (2) データフラッシュ領域へダウンロードするプログラムの開始アドレスが

データフラッシュ領域のブロックの開始アドレスではない。
または、プログラムの終了アドレスがブロックの終了アドレスではない。

発生例および発生しない例を以下の図で示します。

発生例および発生しない例



(1) ダウンロードデータ終了アドレスがブロック終了アドレスではない例

n+1ブロックの開始アドレスからn+2ブロックの終了アドレスより前の領域にプログラムをダウンロードすると、ベリファイエラーが発生する可能性があります。

(2) ダウンロードデータ開始アドレスがブロック開始アドレスではない例

n+1ブロックの開始アドレスより後から、n+2ブロックの終了アドレスの領域にプログラムをダウンロードすると、ベリファイエラーが発生する可能性があります。

(3) ダウンロードデータ開始アドレスおよび終了アドレスが、ブロック開始アドレスおよび終了アドレスではない例

n+1ブロックの開始アドレスより後から、n+2ブロックの終了アドレスより前の領域にプログラムをダウンロードすると、ベリファイエラーが発生する可能性があります。

(4) ベリファイエラーが発生しない例

n+1ブロックの開始アドレスから、n+2ブロックの終了アドレスの領域にプログラムをダウンロードすると、問題は発生しません。

RX62TグループR5F562T6およびR5F562T以外を使用している場合は、以下のいずれかの方法で回避してください。

- (1) ダウンロードするプログラムの開始アドレスおよび終了アドレスが、ブロックの開始アドレスおよび終了アドレスになるようにする。
- (2) Flash Development Toolkitまたは Renesas Flash Programmerを使用して書き込む。

RX62TグループR5F562T6およびR5F562Tを使用している場合は、フラッシュライターモードは使用せず、上記(2)の方法で回避してください。フラッシュライターモードを使用できない問題については、以下のURLでRENESAS TOOL NEWS 資料番号 120216/tn8を参照してください。
<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=120216tn8>

5. 恒久対策

次期バージョンで改修します。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。